

地域医療連携だより

9月号 第43号

2025年



瀬戸フィルメンバーによるセタコンサートを開催しました

Topics

- 診療科紹介 小児科
- みんなの病院 セタコンサートを開催しました
- サポート高松トライアスロンに医療救護担当として参加しました
- 令和7年度「ふれあい看護体験」を開催しました
- 地域医療連携カンファレンス開催報告
- 地域医療・患者支援センターからのお知らせ

診療科紹介

小児科

診療体制

2024年10月から常勤医師が2名から3名に増員になり診療を行っています。また、非常勤医師3名が応援にきてくれています。

診療内容

①外来診療

■ 一般外来

定期乳児健診

(火曜日と木曜日でいずれも午後)

定期予防接種 (水曜日の午後)

■ 専門外来

神経外来 (木曜日の午後)

食物アレルギー外来

(第一金曜日の午後のみ非常勤医師の応援、徳島大学小児科から)

②新生児診療

新生児診療、帝王切開の立ち合い

火曜日の午前是非常勤医師1名の応援 (高松赤十字病院から)

③高松市医師会による1歳6か月児、3歳児健康診査 (1か月に1回)

④高松市立小学校の校医 (2名)

⑤高松地区病院群輪番当番 (1か月に4～6回)

⑥休日当番 (1年間に3回日曜日・祝日外来)



当科の特徴

一般病棟では、主に感染症や喘息発作の患者さんの入院加療を行っています。重症者は、香川大学医学部附属病院や四国こどもとおとなの医療センターに紹介させていただいております。また、当院では年間350件ほどの分娩があり、新生児の対応も行っています。このうち、重症新生児は、

主に高松赤十字病院NICUに新生児搬送を依頼しております。

食物アレルギー、てんかん、熱性けいれんは専門外来で診療しております。神経外来で発達遅滞の疑いがある児に対して、知能検査や心理テストは当院ではできないため、他施設にご紹介します。

患者さん自身とご家族の方々が安心して受診されるようスタッフ一同努めております。また地域の三次病院とも連携を取り、最適な医療を受けられるよう対応させていただきます。お気軽にご相談くださいませ。

(文責 藤井 笑子)



外来担当表

		月	火	水	木	金
午前 受付・診療／ 8～11時	一般診療	藤井 笑子	高見 容子	渡邊 典子	富田 智子	渡邊 典子
	一般診療	富田 智子	15時～ 渡邊 典子		15時～ 富田 智子	富田 智子
	乳児健康診断		第1・3・5週 高見 容子 第2・4週 渡邊 典子		富田 智子	
	予防接種			渡邊 典子 藤井 笑子 高見 容子		
	専門外来				(要予約) 15時～ 神経外来 藤井 笑子 高見 容子	(要予約) 第1週 食物アレルギー外来 徳島大学小児科医師
午後 受付・診療／ 13～16時						

みんなの病院 セタコンサートを開催しました

今年の七夕会は、市民の生活の場に音楽等の文化芸術を提供する、高松市の「デリバリーアーツ事業」を活用し、瀬戸フィルハーモニー交響楽団メンバーによる木管四重奏のコンサートを開催しました。

当日は200名を超える方に足を運んでいただきました。フルート、クラリネット、オーボエ、ファゴットそれぞれの楽器の紹介などを交えて、美しい音色を楽しんでいただけたと思います。



サンポート高松トライアスロンに医療救護担当として参加しました



2025年7月6日（日）、「サンポート高松トライアスロン～瀬戸内国際体育祭～」が開催され、当院の医師、看護師、臨床工学技士が医療救護担当として参加しました。

今回から、トランジション（スイム→バイク、バイク→ランの移行エリア）とゴールが、あなぶきアリーナ内になったため、アリーナ内にも救護所が設置されました。ゴールが空調の効いた室内だったため、ゴール後に熱中症で駆け込んでくる選手は、ほとんどおらず、レース中にけがをした選手の手当て等に当たりました。

幸い大きな事故もなく、無事大会を終えることができました。

これからも、当院は様々な場面で地域医療を支えてまいります。



令和7年度「ふれあい看護体験」を開催しました

7月26日に当院にて、「なりたい自分になってやる」をメインテーマに「ふれあい看護体験」を開催しました。今年度は中学生から高校生まで計10名の参加を頂きました。

はじめに看護局長から当院の沿革、看護師の役割の真髓に触れ3講話があり、参加者はとても興味深く聞いていました。

看護体験は5つのブースに分かれて行い、赤ちゃんのお世話体験、心肺蘇生体験、手術体験看護体験では実際に術衣を着用し、内視鏡手術体験を行いました。

また、DMAT隊員のベストを着用し、救急車の乗車体験も行いました。初めは緊張した表情の参加者でしたが、看護師の説明を受けながら体験をしていくうちに笑顔も見られるようになり、楽しんで参加できていました。

毎年恒例となった屋上ヘリポートでの集合写真撮影は、参加者、スタッフ共に良い思い出となりました。



最後に看護局長から参加者に受講証明書、参加記念品として災害備蓄食品などを手渡し終了しました。

参加者からは、「普段体験できない貴重な体験ができた」等の感想が聞かれ、今回のふれあい看護体験をきっかけに、看護の和がより広く伝わることを期待したいと思います。

今後は、体験内容をさらに充実させ、より一層心に残る看護体験ができるよう取り組んでまいります。



地域医療・患者支援センターからのご案内

第13回高松市立みんなの病院

地域医療連携カンファレンス 開催報告

2025年7月9日（水）、「第13回 高松市立みんなの病院 地域連携カンファレンス」をJRホテルクレメント高松にて開催しました。

特別講演として、徳島大学大学院医歯薬学研究部血液・内分泌代謝内科学分野 松岡賢市教授に『こんなに変わった、血液疾患の最新治療』についてご講演いただきました。血液の悪性疾患の基本的な知識から、免疫を介した最新の治療まで、大変分かりやすくお話ししていただきました。

地域で診療に従事されている方々を始め、当院医師及び医療スタッフにとりましても、大変貴重な機会を賜ることができました。

ご参加いただいた皆様には厚くお礼を申し上げます。また、今後も地域医療連携カンファレンスを継続して行っていくので、よろしくお願いいたします。



当院では、広報紙等のデジタル化等への変更を、

こちらのQRコード、メール、お電話にて随時受け付けております。お気軽にご連絡ください。

広報紙、セミナー等のお知らせは、当院のホームページにも掲載しております。

変更等はこちらから→



当院WEBサイトにも、各種掲載しております！



【問合せ先】

地域医療・患者支援センター 橋本・杉原

087-813-7171 (代)

spau66r9@dance.ocn.ne.jp



**FAX予約を
お願いします**



患者さんをご紹介いただく際に、地域医療・患者支援センターへ事前にFAX予約をお願いいたします。

受付時間	平日(月～金) 8時30分～18時00分
	土曜日 9時30分～13時00分 ※土曜日はFAX予約受付のみ
電話	(087)813-7171(代表) / (087)813-6699(紹介予約専用)
FAX	(087)813-6799(直通) 0120-834-224(フリーダイヤル 6699) ※フリーダイヤルは県内固定電話のみ対応しております。